

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
	合計	基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード 020411
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ 57
		関連個別計画	津市第4次健康づくり計画、津市第2次自殺対策計画		
	担当部局	健康福祉部			
	施策の内容(番号)	035		～	036

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価	今後の方向性	担当課
		選択区分	選択区分	
035	ヘルスポランテアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。	A	②	健康づくり課
036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。	A	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード 020411035
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ 57
		関連個別計画	津市第4次健康づくり計画(令和6年度～令和17年度)		
	担当部局	健康福祉部			
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	035	ヘルスポランティアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性	
035-1	健康づくり事業	健康づくり推進懇話会を開催し、市民の健康づくりにかかる施策に関して、広く意見を聴取し、その推進に資する活動を協働で実施する	効	地域にある組織・人材によるソーシャルキャピタルの醸成	◆ 計画推進に係る効果的な取組みの協議	◎	第4次健康づくり計画の効果的な推進の協議のため、新たに健康づくり推進懇話会委員を選任し、2年任期で委嘱を行った。会議は年間5回を予定、全て開催し実施することができた。強化分野となる「生活習慣病・がん」について協議した。12年計画となるため、意見をもとに実効性の高い具体的な動きにつなげる。
	健康づくり課		誰	市民	◇ 懇話会開催回数	◎	
			何	健康の維持増進についての支援	653 (千円)	現状維持	
035-2	健康づくり事業	食生活改善推進員、健康づくり推進員の活動支援と市民や地域に健康づくりを広げるボランティア活動を担う人材の育成	効	身近な地域でのボランティア活動による健康維持・生活機能の維持	◆ 養成講座の実施	◎	養成講座を計画通り開催したが、健康づくり推進員養成講座については定員の65%の受講であったため「△」とした。後期高齢者に該当するまで就労される市民も多く、ボランティア活動に対する意識の変容も考慮し、今後の養成講座について再検討する必要がある。
	健康づくり課		誰	壮年期から更年期の市民	◇ 養成講座受講数	△	
			何	地域の身近な人や自分自身の健康維持・増進につながり、活動を通して健康づくりに関心を持ち続けることができる	755 (千円)	見直し	養成講座受講者数【健康づくり】15人【食生活改善】13人推進員登録数【健康づくり】233人【食生活改善】237人

施策の内容評価シート(令和6年度分)

035-3	健康づくり事業	健康づくり推進事業に係る業務委託 健康づくりに関する普及啓発活動	効	健康づくりを身近な立場から地域の人に広げる	◆	身近な地域での研修会などの機会の提供	◎	活動回数は予定回数(60回)を大きく上回り、参加者に対し普及啓発できたため「◎」とした。継続して活動支援を行う。
	健康づくり課		誰	壮年期から更年期の市民	◇	研修会の回数	◎	研修会実施回数 【会員研修】32回 啓発事業の実施回数 【啓発活動】319回 【ウォーキング推進】42回
	健康づくり課		何	健康情報の伝達や啓発により地域の人が健康づくりに関心を持つことや、活動を通じた仲間づくり	775 (千円)	現状維持		参加者数 【会員研修】433人 【啓発活動】5287人 【ウォーキング推進】953人
035-4	健康づくり事業	食生活改善推進事業に係る業務委託 健康づくりに関する普及啓発活動	効	食品衛生の普及、テーマに沿ったレシピを調理実習を通じて伝達し、食生活から健康維持につなげることができる	◆	身近な地域での研修会などの機会の提供	◎	活動回数は予定回数(50回)を上回り、参加者に対し普及啓発できたため「◎」とした。継続して活動支援を行う。
	健康づくり課		誰	市民	◇	研修会の回数	◎	研修会実施回数 【リーダー】2回 啓発事業の実施回数 【食生活改善事業】55回 【啓発活動】103回
	健康づくり課		何	食育、食生活の改善から健康づくりにつながる	1,110 (千円)	現状維持		参加者数 【リーダー】39人 【食生活改善事業】810人 【啓発活動】4664人
035-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さるなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	区分	選択区分
A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満		A

4 今後の方向性		
今後の施策の内容の方向性	区分	選択区分
① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要		②

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	②			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020411036
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ	57
	関連個別計画	津市第4次健康づくり計画(令和6年度～令和17年度)、津市第2次自殺対策計画(令和6年度～令和10年度)				
担当部局		健康福祉部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
担当課		何	何	◇ 事業評価の主な視点	◇ 決算額 (千円)	○ 今後の方向性	
036-1	予防接種事業	乳幼児・児童等の予防接種、高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン接種、妊娠を予定または希望している女性・妊婦の夫などの風しん予防接種等の費用助成の実施	効	感染拡大の防止及び重症化予防	◆ 定期予防接種の実施及び勧奨、任意予防接種の費用助成	○	新型コロナウイルスワクチンの定期接種化に迅速に対応した。殆どの予防接種については概ね計画した接種率に達していたため「○」とした。 引き続き、感染症の蔓延防止のため、勧奨を実施する。
	健康づくり課		誰	対象者及び市民	◇ 各予防接種の接種率、費用助成件数	○	
		何	感染症の蔓延及び重症化を予防することができる	803,734 (千円)	現状維持		
036-2	健康診査、がん検診等事業	疾病の早期発見、健康管理の啓発のため、39歳以下及び健康増進法による健康診査、各種がん検診等の実施	効	健康管理及びがんの早期発見	◆ 受診者数 101,560人	○	受診者の増加を見込んだが、予定(101,560人)より少なかったことより「○」とした。(受診者数87,604人) 毎年、精度管理をしながら実施し、適切な対象者への受診勧奨と啓発に努めて実施しており「○」とした。
	健康づくり課		誰	受診者	◇ 受診者数	○	
		何	健康管理及びがんの早期発見により、市民の健康増進に寄与する	478,385 (千円)	現状維持		
036-3	歯周病検診事業	30歳・40歳・50歳・60歳・70歳を対象とする歯周病検診の実施	効	歯周疾患を予防できる	◆ 受診者数 2,275人	○	計画より受診者数が少なかったことより「○」とした。(受診者数2,218人) 国の施策に準じて実施しており「○」とした。
	健康づくり課		誰	受診者	◇ 受診者数	○	
		何	歯周疾患の早期発見・治療をすることができる	8,948 (千円)	現状維持		
036-4	胃がん検診二重読影事業	国の指針に基づく胃がん検診二重読影の実施	効	胃がんを早期発見できる	◆ 二重読影体制整備	◎	国の指針に基づき、二重読影体制で実施しており、胃内視鏡検査の受診者全員(実施率100%)に二重読影を実施しているため「◎」とした。
	健康づくり課		誰	受診者	◇ 二重読影実施率	◎	
		何	二重読影により、見落としなくがんを早期発見できる	16,014 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

036-5	成人の風しんに関する追加的対策事業	令和元年度から令和3年度まで、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象にした風しんの抗体検査及び予防接種の実施	効	風しんの感染拡大の防止及び重症化予防	◆ 対象者への受検勧奨抗体検査数 1,715人	○	計画した抗体検査数の8割以上の実施数(1,439人)となったため「○」とした。 本事業については、令和7年3月末で終了した。抗体検査の結果、接種の対象となった人で未接種者は令和8年度までA類定期接種として取り扱う。(036-1へ)
	誰		対象者及び市民	◇ 抗体検査数	○		
	健康づくり課		何	風しんワクチンの接種を受ける機会がなかった世代が抗体を持つことで、風しんの蔓延予防することができる	14,903 (千円)	完了	
036-6	健康づくり事業	健康教育と健康相談の実施	効	自分の健康に関心を持ち、健康に関する不安の解消や情報を得ることができる	◆ 健康教育、健康相談の実施	◎	計画どおり実施し、参加者数も増えたため「◎」とした。 今後も継続して健康教育、健康相談を実施し市民が自分の健康管理に努めることが出来るよう支援する。 予定回数 【健康相談】114回 【健康教育】170回 実施回数 【健康相談】127回 【健康教育】174回 参加者数 【健康相談】1,143人 【健康教育】4,189人
	誰		壮年期から高齢期の市民	◇ 実施回数	◎		
	健康づくり課		何	自分の健康状態を把握し、健康管理に努めることができる	1,157 (千円)	現状維持	
036-7	健康づくり事業	地域自殺対策の実施 街頭啓発と啓発活動	効	自殺に至る心情や背景を理解し、自らの心の不調や周りの人の不調に気づける機会となる	◆ 街頭啓発(9月及び2月に実施)、広報等を通じた啓発	◎	計画どおり9月及び2月に街頭啓発を実施し、啓発活動ができたため「◎」とした。 今後も主に自殺予防週間、自殺対策強化月間の時期に自殺を予防する行動につながる事が出来るよう街頭啓発等、啓発を実施していく。
	誰		市民	◇ 街頭啓発実施回数	◎		
	健康づくり課		何	自殺に至る心情や背景を理解し、自らの心の不調や周りの人の不調に気づき、一人で悩まず誰かに相談し、自殺を予防する行動につながる	1,089 (千円)	現状維持	
036-8	ロタウイルスワクチン定期接種事業	乳幼児のロタウイルスによる腸炎の予防のため、予防接種を実施	効	ロタウイルスの感染及び重症化予防	◆ 定期予防接種の実施及び勧奨	◎	令和2年10月から定期接種化された。計画した接種率100%に達したため「◎」とした。 引き続き、感染、重症化防止のため、勧奨を実施する。
	誰		対象者及び市民	◇ 予防接種の接種率	◎		
	健康づくり課		何	乳児のロタウイルスによる腸炎の予防及び重症化を防止ができる	48,946 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

036-9	子宮頸がん予防 キャッチアップ接種 事業	HPVワクチンの積極的な勧奨が一時的に差し控えられた平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性を対象に予防接種を実施	効	HPVウイルスの感染による子宮頸がんの防止	◆ キャッチアップ接種の実施及び勧奨	○	平成25年6月14日から積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年度に積極的勧奨を再開している。計画した接種率の概ね8割となる63.9%(1回目の接種率)の接種率となったため「○」とした。 引き続き、子宮頸がん予防につながるHPVワクチンの接種勧奨を実施する。
	誰		対象者及び市民	◇ 予防接種の接種率	○		
	健康づくり課		何	子宮頸がんの主な原因となるHPVウイルスの感染を予防し、子宮頸がんの発症リスクを減少させる	178,986 (千円)	現状維持	
036-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
036-11			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。